

気持ちに寄り添うスキルアップセミナー

ご 案 内

趣 旨

全国の市区町村で設置が進められているこども家庭センターの設置率は85.9%(R8.4月1日現在)となり、今年度中に90%を超えることが見込まれています。体制整備とともに重要なこととして、「寄り添い支援」が挙げられます。妊娠期から子育て期は、心身ともにデリケートな時期であり、それぞれの背景などを考慮しながら信頼関係を構築し、継続的に寄り添っていくには技術も必要です。昨年度から開始された妊婦のための支援給付と相談支援を一体的に行う妊婦等包括相談支援事業においても、妊娠初期から後期、産後と、切れ目なく各時期にあった相談支援を行うことが必要とされています。

そこでこのたび、こども家庭庁から関連の施策を中心に最新情報を会得し、それを自治体でどのように運用していくかについて考え、寄り添い支援について、理論と演習で学ぶセミナーを開催いたします。日ごろ妊婦さんや乳幼児を子育て中の方に寄り添う立場にあるさまざまな職種、お立場の方に、ぜひともご受講いただきたいセミナーです。

日 時 令和8年11月19日(木) 9:30~17:00 *受付は9:10より

会 場 東京都助産師会館 5階講堂(東京都文京区音羽 1-19-18)

東京メトロ有楽町線「護国寺」駅下車徒歩5分

主 催 公益社団法人 母子保健推進会議

後 援 こども家庭庁・公益財団法人東京都助産師会館・全国保健師長会 ※各申請中

対 象 保健師・助産師・保育士・こども家庭センター担当者・関心のある方

受 講 料 8,000円(税込み) 内 容 プログラム裏面

<お問い合わせ・お申し込み>

メールにて、タイトルを「気持ちに寄り添うスキルアップセミナー申し込み」とし、

①お名前 ②ご所属 ③職種 ④連絡先電話番号 ⑤特記事項(任意)

をご記入のうえ、お申し込みください。

E-mail bosui@bosui.or.jp FAX 03-6902-2331

公益社団法人 母子保健推進会議 広報・研修室 TEL 03-6902-2311

お申し込み受付後、受講票とともに受講料のお振込み先をご案内させていただきます。

<参考・受講後のアンケートから>

- ・保健師になって20年余、寄り添い支援はできていると思っていたが、演習を通して、妊婦さんや母親の面接で、むしろ追い詰めていたこともあったのではと感じ、ハッとした。今後に生かしたい。
- ・エンカウターの演習を通じて、自分の心が開いていくのが体感できた。今後教室で活用してみたい。
- ・助産師として自治体の新生児訪問等を行っているが、最近母子に係る施策や事業が結構変わっているので、最新の情報を学べてよかった。寄り添い支援も自分では自信があったが、演習で心が開いていく体験、気持ちに寄り添うことがどういうことか体感できた。気づけてよかった。

気持ちに寄り添うスキルアップセミナー プログラム

9:30～9:35	開会あいさつ・オリエンテーション
9:35～10:15	講義Ⅰ 「最近の母子保健を取り巻く状況」 講師 臼井 麗
10:15～10:55	講義Ⅱ 「こども家庭センターと切れ目のない支援」 講師 佐藤 拓代
10:55～11:00	休 憩（会場づくり）
11:00～12:00	支援者として寄り添い第一ステップ ～はじめまして、どうぞよろしく～ ・グランドルールを守ろう ・寄り添うことの心地よさ・・・、自然に心が開いていくプロセスの体験 講師 高村 壽子・竹田 理恵
12:00～12:50	昼 食
12:50～13:50	支援者として寄り添い第二ステップ ～関係性の構築のための8つの誓約～ ・シミュレーションで学ぶ子育て支援の声かけと聴き方の実際 講師 高村 壽子・竹田 理恵
13:50～17:00	支援者として寄り添い第三ステップ ～気持ちに寄り添うピアカウンセリング・スキルの実習～ ・基本的向かい合い方スキル ・オープンクエッション/パラフレーズスキル ・感情と向き合うスキル ・要約/統合スキル 講師 高村 壽子・竹田 理恵

*午後の休憩は、演習の中で随時挟みます。

【コースリーダー・講師】

高 村 壽 子 自治医科大学名誉教授／とちぎみらいwith ピア理事長
日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会前代表

【講 師】

臼 井 麗 こども家庭庁成育局母子保健課生殖補助医療係 係長
佐 藤 拓 代 公益社団法人母子保健推進会議 会長
竹 田 理 恵 仙台青葉学院大学看護学部看護学科 講師

【総合司会進行】 岡 本 喜代子 公益社団法人母子保健推進会議 副会長